□ 回 答 書

受諾番号	GBRC判受 089999号		連絡者名	日本　一郎
建 物 名	(仮称)○×アパート新築工事		所属	日本建築総合試験所
			連絡先:TEL	01-1234-5678
			連絡先:FAX	02-1234-5678

回答内容について問合わせを行う場合があります。連絡先をご記入ください。

下記の通り回答します。

No.	指 摘 事 項	回答欄	参照ページ 図面番号
1	計算書p2-2、B2,B3の支持条件は二連梁となっています。安全側の検討となっていることについて説明してください。②	単純梁としても検討を行い、安全性を確認しました。その検討書を添付します。なお、B2,B3の断面に変更はありません。	追加-P1
2	計算書p2-3(B2,B4の設計)で、壁の重量の取り扱いについて、コメントしてください。また、小梁の設計での集中荷重の内訳を明示してください。②	壁重量の取扱い、及び集中荷重の内訳を作成し、別添に示します。P2-3の計算に変更はありません。	追加-P4
3	Cフレームの長期鉛直応力で棟位置の曲げモーメントが跳ね上がっています。応力解析条件の設定が適切にされていないようですので、他のフレームも合わせて確認してください。②	Cフレームでは誤って屋根剛床が設定されていました。屋根剛床を解除して、長短期応力計算、断面算定を行い安全性を確かめました(別添)。なお、A,Bフレームでは正しく設定されていました(元計算書p37、p45参照)。部材断面はA、Bフレームの応力で決定しており、今回の追加検討での変更はありません。	追加-P8
4	フレームの応力解析の水平荷重時で、中間層の部材のつながっていない節点の解析条件の設定について説明してください。②	梁で繋がれていない接点の剛床は解除して検討しています。別添に、このプログラムの出力の見方(取扱説明書抜粋)を示します。	追加-P25
5	計算書P30　横補剛材Tの取り付け詳細が不明です。図面に明記すると共に、剛性、耐力の確認をしてください①	S-9に取り付け詳細を記入しました。 剛性、耐力の確認を行い、検討書を添付しました。Tの断面の変更はありません。	S-9 追加-P26
6			
7			

回答欄は、単に「別添参照」「別紙による」とするのでなく、判定員が内容を理解しやすいよう、追加検討の方法、検討の結果とその影響、資料添付の方法等について具体的に記述してください。

・参照ページ、図面番号を記載してください。
・図面の補正をされる場合は、補正箇所がわかるようにマーキングをお願いします。